

早川 小島 長
答日

3月26日 15時
4月1日 12時
長谷川 氏、藤田 氏
出席 8名

日米教育委員会

2010年度第2回 日米教育交流振興財団 理事会・評議員会次第

→ 同定金

日時: 2011年3月25日(金) 12:00~13:30

会場: フルブライト・ジャパン (日米教育委員会) 会議室

Morita Kenji's Proj.

① 経費
交附 7000
16名 1月

募金 10000円

<審議事項>

- 1) 役員人事 P.1
- 2) 2010年度決算見込及び2011年度収支予算書案 P.2
- 3) 2010年度決算見込書注書、2011年度収支予算書注書 P.3
- 4) 日米教育交流振興財団決算推移 P.4
- 5) 2011年度事業計画書案 P.5
- 6) 資金運用方針確認 P.6
- 7) 企業・団体および個人募金の件 P.7

専任 大野
Visiting Lectur
お礼状
お礼状
お礼状

<報告事項>

- 1) 2010年度財団事業概要 P.8
- 2) 2010年度財団奨学生リスト P.9
- 3) 新公益法人移行の手続き P.10

・ 2010年2月
・ 報告の件は、1月1日に
・ 報告の件: 1000円

専任 同定金 → 専任 同定金へ 可視化

信用保証 2010年度 専任 同定金 1000円

石原 氏

7月 - 10月 専任 同定金
伊藤 同定金 担当

Authorized Voluntary Donor

travel advisory

日本 専任 同定金
専任 同定金 担当

Ordered 2011年 3月 25日

"1000円" 専任 同定金

役員・事務局長人事

【ご逝去】

- ・ 開原成允（かいはらしげこと）元理事のご逝去【2011.1.12】

【退任】

- ・ 佐藤ギン子評議員の退任
- ・ 金辻信弘顧問の退任

【事務局長】

- ・ 大野照事務局長の任期が平成 23 年 3 月 31 日で満了につき、後任を協議中である。

、 開原成允
18/22 (18-3
=16)
・ 新 60周年
記念行事
原田定行
・ 佐藤ギン子
評議員
。

2010年度決算見込及び2011年度収支予算書案

Ykk
 正計
 戸数
 10人
 10人
 10人

(単位:千円)

	2010年度 予算額(A)	2010年度 決算見込(B)	増減 (B)-(A)	2011年度 収支予算案
I 収入の部				
1 寄付金収入	19,000	18,995 注1	-5	19,000 注5
2 寄付航空券収入	7,500	5,621	-1,879	7,500
3 基本財産運用収入	150	200	50	140
4 運用財産利息収入	750	1,526	776	700
5 未払奨学金繰戻金	0	2,638	2,638	0
6 受取家賃	376	376	0	310
7 対JUSEC為替差額	0	0	0	0
8 雑収入	0	0	0	0
当期収入合計(A)	27,776	29,356	1,580	27,650
前期繰越収支差額	320,797	333,627	12,830	299,981
収入合計(B)	348,573	362,983	14,410	327,631
II 支出の部				
1 事業費	56,700	49,844	-6,856	51,700
日本人奨学金	6,000	7,769 注2	1,769	6,000 注6
米国人奨学金	43,000	36,354 注3	-6,646	38,000 注7
選考費等	100	100	0	100
航空運賃	7,500	5,621	-1,879	7,500
オリエンテーション費	100	0	-100	100
2 管理費	15,228	13,158	-2,070	15,797
租税公課	8	2	-6	8
水道光熱費	300	342	42	300
旅費交通費	200	144	-56	300
通信運搬費	500	232	-268	500
印刷製本費	100	100	0	150
損害保険料	12	10	-2	12
修繕費	10	0	-10	10
消耗品費	10	2	-8	10
地代家賃	4,131	4,132	1	4,100
倉庫料	100	39	-61	100
OA使用料	600	508	-92	600
事務用品費	150	88	-62	150
給料手当	3,300	3,400	100	3,300
法定福利費	5	4	-1	5
図書購入費	60	88	28	60
会議費	1,500	495	-1,005	1,500
募金手数料	567	567 注4	0	567 注8
銀行手数料	50	99	49	50
研修費	25	0	-25	25
什器備品	0	0	0	0
雑損失	0	1,175	1,175	0
外部監査料	1,050	1,050	0	1,050
雑費	550	37	-513	500
予備費	2,000	0	-2,000	2,000
新公益法人費	500	644	144	500
当期支出合計(C)	71,928	63,002	-8,926	67,497
当期収支差額(A)-(C)	-44,152	-33,646	10,506	-39,847
次期繰越収支差額(B)-(C)	276,645	299,981	23,336	260,134

2010 年度決算見込書注書

収入の部

注 1: 2010 年度の寄付金収入は、おおむね予算に達し、18,995 円となった。

支出の部

注 2 (事業費): 日本人奨学生は、1 名分 7,769 千円を見込。

注 3 (事業費): 米国人奨学生は、10 名 36,354 千円を見込。 *奨学金*

注 4 (事業費): 募金手数料。2009 年度寄付金収入 x 3%

18,903 千円 x 3% \approx 567 千円

12/1/1000000

2011 年度収支予算書注書

収入の部

注 5: 寄付金収入は、YKK株式会社 10,000 千円、三菱グループ 5,000 千円およびチャリティ・ゴルフ 4,000 千円を見込んで、合計 19,000 円を受取り見込。

支出の部

注 6 (事業費): 日本人奨学生は、1 名分 6,000 千円を見込。

注 7 (事業費): 米国人奨学生は、10 名分 40,000 千円を見込。

注 8 (管理費): 募金手数料。2010 年度寄付金収入見込 x 3%

18,995 千円 x 3% \approx 567 千円

日米教育交流振興財団 決算推移 (2004-2011)

11.03.25
(単位:千円)

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010(決算見込)	2011(予算)
I 収入の部								
1 寄付金収入	18,850	39,372	82,007	105,164	27,508	18,903	18,995	19,000
2 寄付航空券収入					11,752	10,750	5,621	7,500
3 A50寄付金収入	12,500	10,000	0	0	0	0	0	0
4 基本財産運用収入	222	220	332	231	266	138	200	140
5 運用財産利息収入	3	4	221	1,357	1,627	726	1,526	700
6 A50寄付金利息収入	1	0	11	15	2	0	0	0
7 受取家賃	242	242	242	242	242	330	376	310
8 雑収入					94	0	0	0
9 未払奨学金繰戻金	1,000	5,604	-3,476	890	12,750	13,795	2,638	0
10 A50未払奨学金繰戻金	-403	4,688	-839	2,322	91	-681	0	0
11 対JUSEC為替差額	-616	45	224	-650	-553	0	0	0
12 A50対JUSEC為替差額		15	-2	-65	-5	0	0	0
当期収入合計 (A)	31,799	60,190	78,720	109,506	53,774	43,961	29,356	27,650
前期繰越収支差額	563,235	481,278	453,056	423,894	413,464	369,668	333,627	299,981
収入合計 (B)	595,034	541,468	531,776	533,400	467,238	413,629	362,983	327,631
II 支出の部								
1 事業費	111,102 (91%)	81,827 (86%)	96,163 (87%)	105,100 (88%)	81,852 (84%)	65,850 (82%)	49,844 (79%)	51,700 (77%)
日本人奨学金	12,000	6,000	18,000	30,000	18,000	12,000	7,769	6,000
米国人奨学金	財団: 48,000 A50: 42,000	48,000	55,000	67,000	52,000	43,000	36,354	38,000
選考費等	100	100	100	100	100	100	100	100
航空運賃	9,002	6,672	2,063	0	11,752	10,750	5,621	7,500
オリエンテーション費	財団: 0 A50: 0	55	0	0	0	0	0	100
2 管理費	11,656 (9%)	13,257 (14%)	13,780 (13%)	14,836 (12%)	15,718 (16%)	14,152 (18%)	13,158 (21%)	15,797 (23%)
租税公課	1	1	2	2	9	2	2	8
水道光熱費	357	334	339	340	337	298	342	300
旅費交通費	129	129	118	100	186	150	144	300
通信運搬費	359	353	391	394	499	303	232	500
印刷製本費	33	54	39	67	89	63	100	150
損害保険料	4	4	4	4	12	11	10	12
修繕費	0	0	0	0	0	1,564	0	10
消耗品費	31	0	0	0	0	0	2	10
地代家賃	2,903	2,903	2,903	2,903	2,903	3,961	4,132	4,100
倉庫料					51	108	39	100
OA使用料	849	765	708	689	549	532	508	600
事務用品費	250	147	133	146	259	184	88	150
給料手当	4,315	5,880	5,269	5,170	5,092	3,505	3,400	3,300
法定福利費	6	6	5	5	5	4	4	5
図書購入費	4	10	1	3	18	74	88	60
会費	891	1,337	1,261	1,131	1,305	1,075	495	1,500
募金手数料	747	534	1,181	2,460	3,155	825	567	567
銀行手数料	74	78	73	54	53	54	99	50
研修費					23	0	0	25
A50銀行手数料	4		3	5	2	0	0	0
外部監査料	660	630	630	840	1,050	1,050	1,050	1,050
新公益法人費					100		644	500
什器備品					21	383	37	500
雑費	9	75	17	14	6	6	1,175	0
雑損失					0	0	0	0
為替差額	0	0	0	10	0	0	0	2,000
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0
100周年記念募金費用 注1			660	522	0	0	0	0
国債評価損			43	-23			0	0
当期支出合計 (C)	122,758 (100%)	95,084 (100%)	109,943 (100%)	119,936 (100%)	97,570 (100%)	80,002 (100%)	63,002 (100%)	67,497 (100%)
当期収支差額 (A)-(C)	-90,959	-34,894	-31,223	-10,430	-43,796	-36,041	-33,646	-39,847
次期繰越収支差額 (B)-(C)	472,276	446,384	421,833	413,464	369,668	333,627	299,981	260,134
(= 期末正味財産)								
☆注 2003年度以降資金の範囲を変更し、特定基金等残高を除外した。								
次期繰越収支差額	481,278	453,056	423,896	413,464	369,668	333,627		
特定基金等残高	-458,420	-363,877	-340,212	-390,593	-337,252	-284,906		
収支計算書上次期繰越差額	22,858	89,179	83,684	22,871	32,416	48,721		

注1 100周年記念募金費用
通信費 381
印刷製本費 279
会費 110
旅費交通費 7
660 522

2011年度 事業計画書案

(単位:千円)

	2010年度 予算額		2010年度 決算見込		2011年度 予算額	
I 日本人派遣事業						
日本人派遣事業合計	1名	6,000	1名	7,769	1名	6,000
II 米国人受入事業						
財団奨学生:						
1 大学新卒生	7名	28,000	7名	24,692	7名	28,000
2 大学院生	3名	15,000	3名	11,662	3名	15,000
3 選考費		100		100		100
4 航空運賃		7,500		5,621		7,500
5 オリエンテーション費		100		0		100
小計	10名	50,700	10名	42,075	10名	50,700
米国人受入れ事業合計	10名	50,700	10名	42,075	10名	50,700
事業費合計	12名	56,700	12名	49,844	11名	56,700

資金運用方針確認と現状報告について

従来より、運用方針は次の三原則に基づいて行われております。暫くこれに沿って運用いたしたくご承認下さいませようよろしくお願いいたします。

1. 運用方針(財務委員会の従来通りの方針)

- ① 安全第一の方針に基づき、実質元本保証のある国債および定期預金に限定する。
- ② 中期的金利上昇傾向のもと、資金の長期固定化による機会損失を避け、期間1年未満の運用を行う。
- ③ 切り替えに伴う事務量増加を避け、6ヶ月未満の短期運用は行わない。

2. 現在運用中の銘柄

(単位:千円)

基金名	銀行・証券会社	銘柄	償還日	運用金額	レート	約定日
三上	野村証券	第298回利付国債	12/11/15	59,924	0.10%	11/01/20
志野	野村証券	第91回利付国債	15/09/20	24,914	0.40%	11/01/17
三上	野村証券	京都市平成13年度 第二回公募公債	11/11/21	61,304	1.30%	10/04/09
志野	大和証券	かながわ県民債	11/12/27	40,292	1.04%	11/04/12

3. ご参考: 11/02/28 現在預金残高 (単位:千円)

① 当座預金	② 普通預金	③ 定期預金
郵便振替 2,064	みずほ銀行 3,385	三井住友銀行(基本財産) 50,000
	みずほ奨学金 65,602	
	みずほ・個人募金 3,734	<u>合計</u> <u>50,000</u>
	三菱東京UFJ・志野 2,694	
	三菱東京UFJ・三上 2,894	
	三菱東京UFJ・個人募金 3,127	
	三菱東京UFJ信託 3	
	三井住友銀行 78	
	<u>合計</u> <u>81,517</u>	

5) 企業・団体および個人募金の件

60周年記念行事実行委員会は立ち上げ会を含めると昨年後半から5回の会合を重ね、現在のおかれている環境をかんがみて従来よりは堅実な規模を縮小したものにし、シンポジウムとレセプションの2本立て、それに記念論文を募集するということでそれぞれの小委員会を立ち上げしんこうしている。

従来の募金活動は3年間かけて、企業団体から3億円、個人から4千万円ということで6回やってきた歴史がある。東日本大震災の起きた今どうやっていくか、日米教育委員会、TFA主催者側に財団としても協力体制をしっかりと取る必要がある。

2010 年度財団事業概要

1. 奨学生への支給並びに援助

財団奨学生

2010 年度予算では日本人奨学生 1 名、米国人奨学生 10 名を予定し、その通りに日本人奨学生 1 名、米国人奨学生 10 名が採用された。(P.9 2010 年度財団奨学生冠名リストご参照)

2. 募金活動

寄付金収入

(1) 企業・団体募金

フルブライト上院議員生誕 100 周年記念の旗のもとに最終の密度の高い活動を終えた時期に、リーマン・ショックに端を発した今回の未曾有のリセッションに襲われ企業基金は長年の継続ご支援の YKK 株式会社および三菱グループから合計 15,000 千円のご寄付を拝受することができた。個人募金は 10 千円拝受し、最終的に合計 15,010 千円であった。

(2) 日米チャリティ・ゴルフ大会

第 35 回日米チャリティ・ゴルフ大会による寄付は 3,893 千円であった。

3. 日米間の教育・学術交流に関する情報、資料等の収集、提供

- ・ 留学情報の提供については、例年通りフルブライト・ジャパン（日米教育委員会）の協力を得た。
- ・ 米国フルブライト・アソシエーション第 33 回世界大会はアルゼンチン・ブエノスアイレスにおいて開催され、日本からは大野熙事務局長と福田学 TFA Alumni Meetings 委員長の 2 名が参加した。

4. 機関誌・その他

東京フルブライト・アソシエーションのニューズレター 23 号に財団の状況、および奨学生に関する資料を掲載し、同窓生に非常に好評得ている。その結果、初めて会費支払率が改善された。

2010年度財団奨学生冠名リスト

採用者数:	Fulbright Fellows (Recent B.A.)	FF	7名
	Graduate Research Fellows (Graduate Students)	GRF	3名
	Graduate Students - Japanese	GSJ	1名

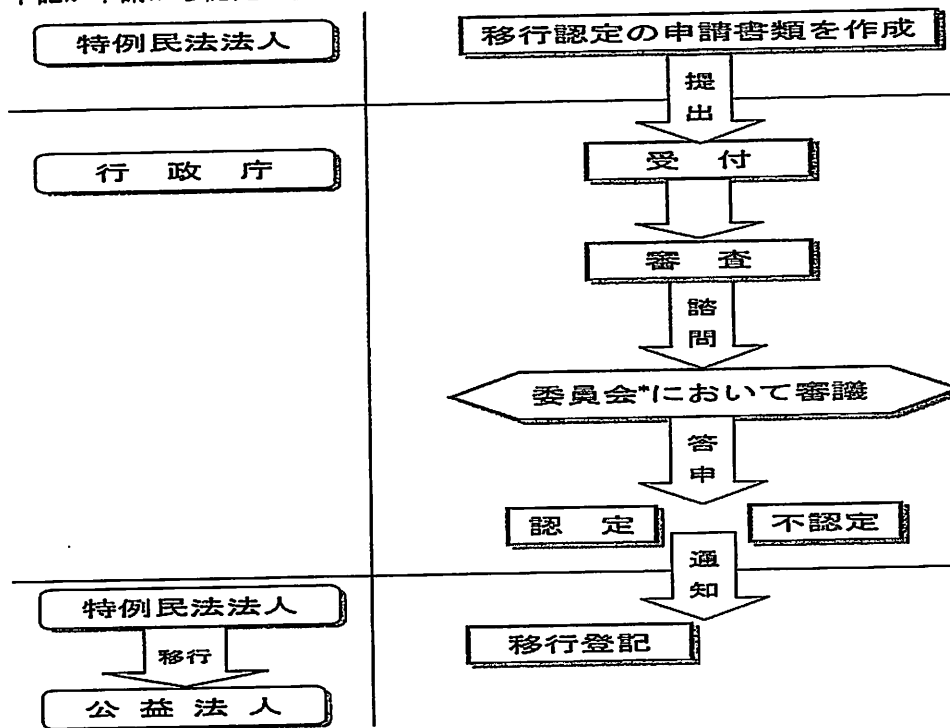
冠 名 (敬称略)	奨 学 生 名	カテゴリー	受入大学名	出身大学(最終)名
<Americans>				
1. 三上基金	DE KONING, Philippe B.	FF	広島大学 (国際関係)	Stanford U. (International Relations)
2. 三上基金	LECLAIR, Jessica E.	FF	京都大学 (環境学)	Williams College (Ecology)
3. 志野基金	KUSHELL, Michael G.	FF	愛知県立大学 (民族音楽学)	U. of California, Berkeley (Ethnomusicology)
4. TFA-1	DAHL, Jessa K.	FF	長崎大学 (歴史学)	Knox College (History)
5. TFA-2	RIGANO, Louis	FF	森林たくみ塾 (建築学)	Rhode Island School of Design (Architectural Design)
6. TFA-3	ROCKQUEMORE, Angelica S.	FF	大阪学院大学 (美術史)	Pacific U. (Art History)
7. TFA-4	WELLS, David L.	FF	九州大学 (経済学)	U. of Michigan (Economics)
8. 三菱グループ	GRUNOW, Tristan R.	GRF	法政大学 (日本史)	U. of Oregon (Japanese History)
9. YKK	SEEBRUCK, Ryan M.	GRF	静岡大学 (社会学)	U. of Arizona (Sociology)
10. TFA-5	LOWE, Bryan D.	GRF	大谷大学 (宗教学)	Princeton U. (Religion)
<Japanese>				
1. YKK	古井 義昭	GSJ	Emory U. (American Literature)	東京大学大学院 人文社会系研究科 (英語英米文学研究室)

新公益法人移行手続きの進捗状況

2019年11月20日

公益法人制度の抜本的な改革により、当財団（特例民法法人）が新制度の公益法人、すなわち「公益財団法人」へ移行するため、所要の申請書類を行政庁に提出して、行政庁の認定を受ける必要があります（期間は、平成 20 年 12 月 1 日から平成 25 年 11 月 30 日まで）。

下記が申請から認定の流れです。



現時点では、申請書類を準備完了いたしました。申請書類の中身につきましては下記項目がございます。

- * 申請書（法人の基本情報、組織について。公益目的事業について）
- * 法人の財務に関する公益認定の基準にかかる書類（収支相償の計算、公益目的事業比率の算定総括表、各事業に関連する費用額の配布計算表、収支予算の事業別区分経理の内訳表、など）
- * 添付書類（定款（寄付行為）、定款案、役員就任予定者の名簿、事業計画書、収支予算書、前年度の貸借対照表など）

予定より時間を費やしたのは、定款（寄付行為）にかわる定款（案）の作成であり、法律的な技術を要するので、神尾氏（公益法人経営戦略研究所）と金木氏（コンパッソ会計事務所）と打ち合わせを重ねながら作ることができました。

3月末には申請書類を電信で送りまして、次の審査に進むことになります。

以上

地球の国

★ 早川洋行 (1927) 出資

(株) - 論議の機会 水戸の友誼会

18日 第一回

5月25日・L.P. 100 常川打川 - 17日

26(土) 深田大 - 100 常川打川 (1927) 出資

2 出資
3 出資

17日 常川打川 水戸の友誼会

常川打川 (1927)

17日 常川打川

深田大 100 出資 12月 9日 出資

出資の状況 - 出資 出資 出資

1 出資 12月 9日

常川打川

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

常川打川

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資

12月 9日 出資